

リモコン工事説明書

225WA3499-00

工事される方へのお願い

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい設置工事が必要です。設置工事の前に「リモコン工事説明書」を必ずお読みください。
- この説明書は、工事後、機器本体の「工事説明書」とともにお使いになるお客様にお渡しし、保管いただくよう依頼してください。
- この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、事故や故障の責任は負いかねます。(施工者責任になります。)

安全上のご注意

- 人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を説明しています。

表示	表示の意味
	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。
	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

警告

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および工事説明書に従って施工する

施工不備があると感電、火災の原因になります。

注意

工事は、配線用しゃ断器、機器本体の漏電しゃ断器を「切」にしてから行う

感電やショートによる故障のおそれがあります。

同梱部品 取付工事前と同梱部品とリモコン形式を確認してください。(機種により同梱部品が異なります。)

台所リモコン	浴室リモコン	増設リモコン
<ul style="list-style-type: none"> Y型端子 2個 Mネジ(M4×L35) 2本 木ネジ(φ4×L30) 2本 樹脂カールプラグ 2個 	<ul style="list-style-type: none"> 木ネジ(φ4×L30) 2本 オールプラグ 2個 別売品: UKW-1 接続パイプ 1個 木ネジ(φ5.1×L16) 2本 リモコンカバー 1個 取付説明書 1枚 	<ul style="list-style-type: none"> Y型端子 2個 Mネジ(M4×L35) 2本 木ネジ(φ4×L30) 2本 樹脂カールプラグ 2個 接続端子 2個 中継リード線 2個

※機種によりスイッチの数が異なります。

増設リモコンを取り付ける際は、取付前に形式を確認してください。

増設リモコンを取り付ける際は台所リモコンと増設リモコンを間違えないようご注意ください。(増設リモコンは「RSP-」または「RSH-」ではじまる形式です。)

施工上のごお願い

- リモコン本体を分解しないでください。
- リモコンコードの長さは、30m以内にしてください。30mを超えると、機器の作動不良の原因になります。
- リモコンコードは、別売品(UR-M2-8A等)または0.3mm²(2芯)を使用してください。
- リモコンコードは、電源配線と一緒に引き回さないでください。ノイズによる誤作動のおそれがあります。
- リモコンは、必ず平らな面にすき間なく取り付けてください。凹凸があると取り付け時に変形して作動不良の原因になることがあります。
- リモコンコードが短絡しないように施工してください。
- リモコンコードを露出配線する場合、接続端子部に外力が加わらないようにリモコンコードを壁面に固定してください。
- 施工時、リモコン内部に鉄粉や砂などの異物が入らないようにしてください。スピーカー部に鉄粉等が附着して、音が出なくなるおそれがあります。
- リモコンのネジ止めには、電気ドライバー、インパクトドライバー等は使用しないでください。破損や変形のおそれがあります。

台所(増設)リモコン取付工事

取付場所の選定

- 取付位置はスイッチ操作がしやすく、表示が良く見える場所に取り付けてください。(図1)
- 台所・増設リモコンは平らな面で、金属類のない場所に取り付けてください。
※端子台に金属が触れるとショートし、故障の原因になります。(図2)
- 次の場所は避けて取り付けしてください。
 - ・台所・増設リモコンは、浴室など湿気が多いところには絶対に取り付けしないでください。防水構造ではありません。
 - ・ガステーブル、こまろなどの燃焼機器やIH調理器の上など高温(50℃以上)になるところ
 - ・直射日光、水しぶき、蒸気、油、水滴のかかる場所
 - ・無線子機を有するドアホン機器や電子レンジなどの電波を発する機器、テレビなどの電化製品の近くは避けて取り付けてください。上下左右20cm以上離してください。(取付壁内部に金属がある場合は、十分離してください。)
 - ・浴室リモコンと同一の壁
 - ・浴室リモコンと近接するところ(ハウリングを起こす場合があります。)
- 露出配線時に壁が石膏ボードなど中空の場合は、木ネジで固定する際、付属の樹脂カールプラグを使用してください。(図3)

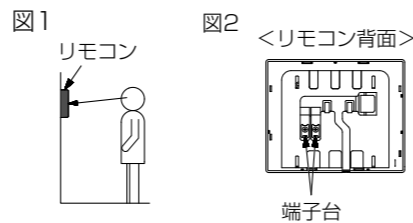
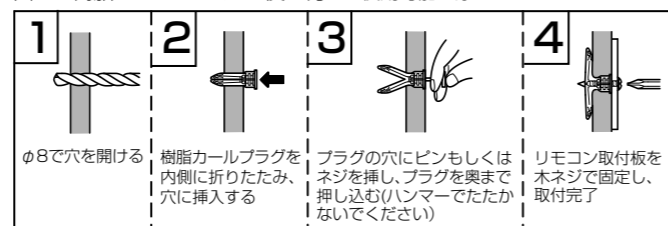
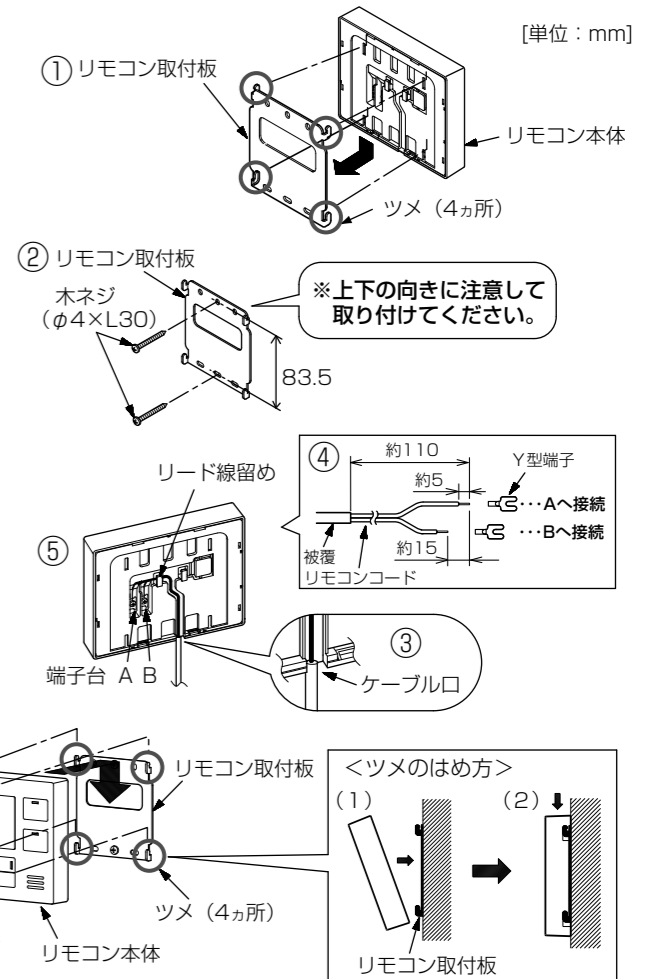


図3 樹脂カールプラグの使い方 ※使用可能壁厚: 9~13mm



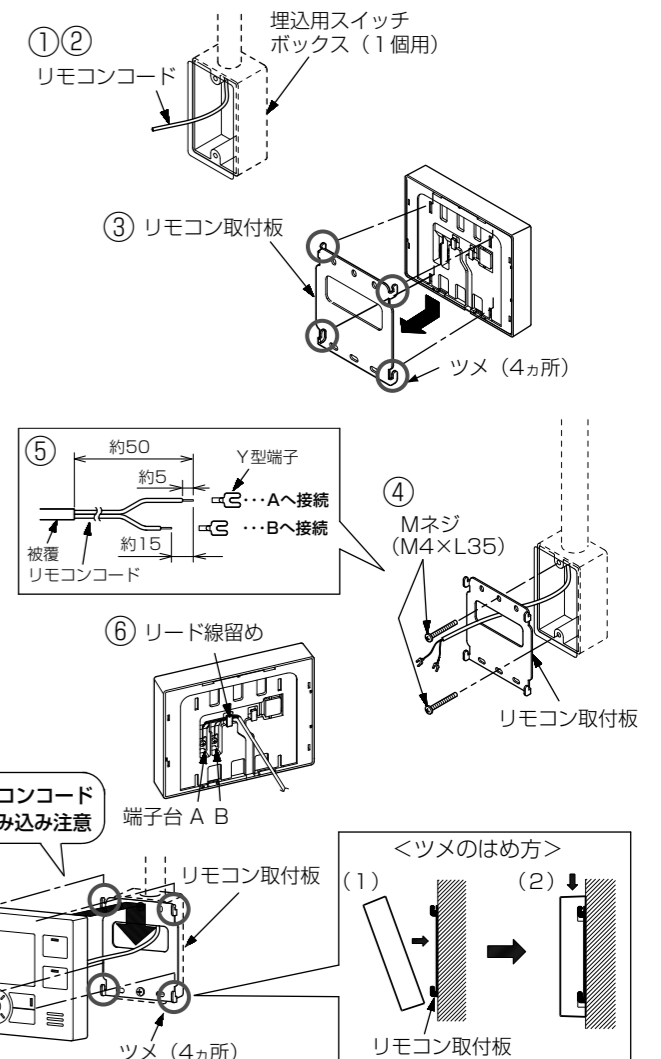
壁面に取り付ける場合(露出配線)

- ①リモコン背面に固定されているリモコン取付板を下にずらしてツメ(4ヵ所)をはずし、リモコン取付板を取りはずす。
- ②リモコン取付板を付属の木ネジ(φ4×L30)で壁面に固定する。
※リモコン取付板が壁面より深く沈み込むほど、ネジを強く締め付けしないでください。正常に取り付けできなくなることがあります。
- ③リモコン背面のケーブル口をニッパーなどで切り欠く。
切り口をカッターなどで仕上げてください。
※取り付け時リモコンコードに負荷が掛からないよう、ケーブル口は広めに切り欠いてください。
- ④リモコンコードの被覆を右図のようにむき、付属のY型端子を圧着する。
※リモコンコードに極性はありません。
- ⑤Y型端子をリモコン背面の端子台に接続する。(長い方をA、短い方をBへ)リード線留めを通して固定し、溝に沿わせてケーブル口まで導く。
締付トルク: 0.6N・m (6kgf・cm)
※リモコンコードが溝からはみ出ないように、テープなどで固定してください。
- ⑥リモコン本体をリモコン取付板に元どおりに取り付ける。
(1) 先に下側2ヶ所のツメをはめ、リモコンコードが正しく取り付けられていることを確認してから、上側2ヶ所をはめる。
(2) 下方へスライドさせる。
※リモコン本体のガタツキがないことを確認してください。
- ⑦リモコンコードを壁に固定し、機器本体まで配線する。



リモコンコードを壁中に通す場合(埋込配線)

- ①リモコン取付位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取り付けておく。
- ②リモコンコードを電線管に通し、機器本体まで配線しておく。
- ③リモコン背面に固定されているリモコン取付板を下にずらしてツメ(4ヵ所)をはずし、リモコン取付板を取りはずす。
- ④リモコン取付板を付属の木ネジ(M4×L35)で埋込用スイッチボックスに固定する。(リモコンコードをリモコン取付板中央の角穴より引き出す。)
※リモコン取付板が壁面より深く沈み込むほど、ネジを強く締め付けしないでください。正常に取り付けできなくなることがあります。
- ⑤埋込用スイッチボックスから出ているリモコンコードの被覆を右図のようにむき、付属のY型端子を圧着する。
※リモコンコードに極性はありません。
- ⑥Y型端子をリモコン背面の端子台に接続する。(長い方をA、短い方をBへ)リード線留めを通して固定する。
締付トルク: 0.6N・m (6kgf・cm)
- ⑦リモコン本体をリモコン取付板に元どおりに取り付ける。
(1) 先に下側2ヶ所のツメをはめ、リモコンコードが正しく取り付けられていることを確認してから、上側2ヶ所をはめる。
※リモコンコードがリモコン本体とリモコン取付板にはさみ込まないようにしてください。
※埋込用スイッチボックスを使用せず壁から直接リモコンコードを引き出す場合は、はさみ込みやすくなりますので、リモコンコードを壁の中に確実にさめてください。
(2) 下方へスライドさせる。
※リモコン本体のガタツキがないことを確認してください。



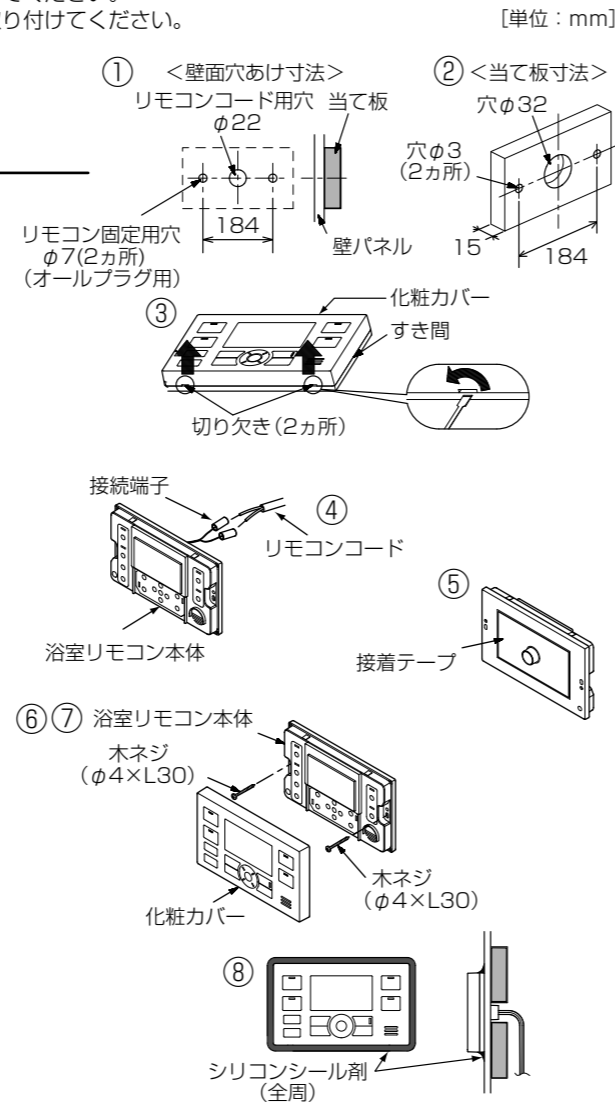
浴室リモコン取付工事

取付場所の選定

- 取付位置は浴室内のスイッチ操作がしやすく、表示が良く見える場所に取り付けてください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ温水や水がかかりにくい場所に取り付けてください。
- 次の場所は避けて取り付けてください。
 - ・鉄筋や柱が壁の中を通っているところ
 - ・台所リモコンと同一の壁
 - ・台所リモコンと近接するところ（ハウリングを起こす場合があります。）

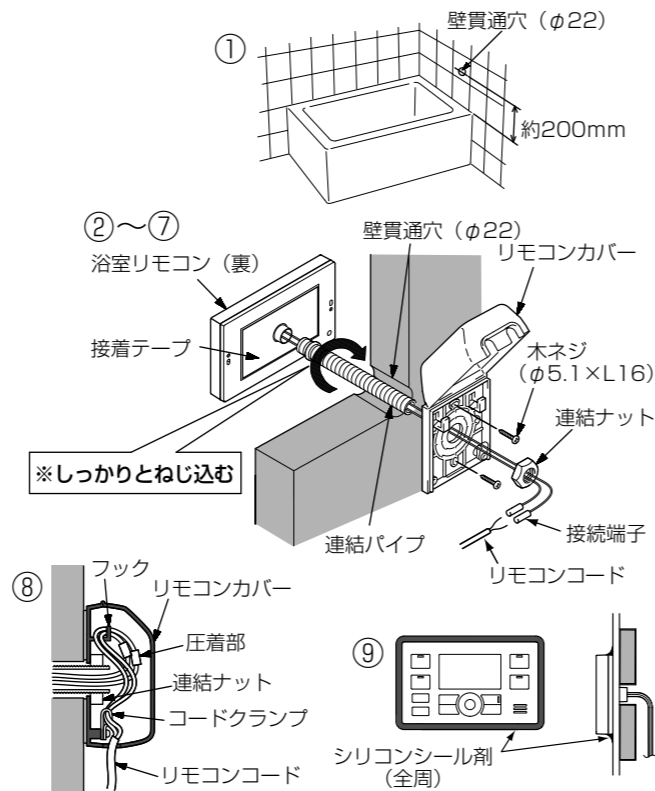
壁面に直取付けの場合（壁内配線）

- ①壁面にリモコンコード用穴（φ22）とリモコン固定用穴（φ7）をあける。
- ②タイル仕上げの浴室に取り付ける場合は、①であけたφ7穴にオールプラグを差し込んで取り付ける。ユニットバスに取り付ける場合は、壁面裏側に右図のような当て板を取り付ける。
- ③リモコンの下部にある切り欠き（2カ所）にマイナスドライバーなどを差し込んで軽く回してすき間をあけ、化粧カバーを軽く引き上げて化粧カバーをはずす。
※一部の面だけ必要以上に化粧カバーをあげ過ぎると、化粧カバーが破損するおそれがありますので、注意して作業してください。
- ④リモコンコードの被覆をむき、浴室リモコン本体付属の接続端子に挿入し、圧着する。
※リモコンコードに極性は**ありません**。
- ⑤リモコン背面の接着テープのシールをはがし、リモコンが水平になるように壁に貼り付ける。
- ⑥付属の木ネジ（φ4×L30）で浴室リモコン本体を壁面に固定する。
- ⑦浴室リモコン本体に化粧カバーを四隅のツメがパチンと音がするまで押し込み、元どおりに取り付ける。
※化粧カバーが浮いていると、スイッチが押しにくくなる場合があります。
- ⑧浴室リモコンと壁の間には、水が浸入しないように全周にシリコンシーラ剤を塗布してコーキングし、確実に防水処理をする。
※シーラ剤での防水処理が不十分の場合、リモコンの内部に水や蒸気が入り、故障の原因になります。
※メンテナンスの為、化粧カバーにかからないようにコーキングしてください。



壁貫通取り付けの場合 ※別売品(UKW-1)が必要になります。

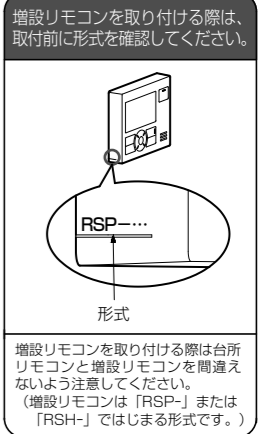
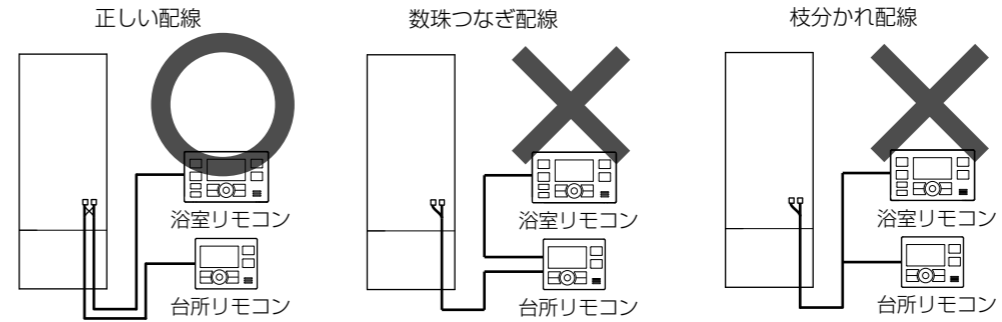
- ①壁に貫通穴（φ22）をあける。
- ②連結パイプを壁の厚さにあわせて切断し、リモコンの接続端子を通して、連結パイプをリモコンにねじ込む。
- ③リモコン背面の接着テープのシールをはがし、リモコンが水平になるように壁に貼り付ける。
- ④屋外でリモコンカバーのふたをあけ、リモコンの接続端子をリモコンカバーおよび連結ナットに通す。
- ⑤リモコンカバーを付属の木ネジ（φ5.1×L16）で壁面に固定する。
- ⑥連結ナットを連結パイプに締め付ける。
- ⑦リモコンコードの各線を接続端子に挿入し、圧着する。
※リモコンコードに極性は**ありません**。
- ⑧圧着部がリモコンカバー内に収まるようにコードクランプで固定する。（リモコンカバー内部のフックを利用してください。）
- ⑨浴室リモコンと壁の間は、水が浸入しないように全周にシリコンシーラ剤を塗布してコーキングし、確実に防水処理をする。
※シーラ剤での防水処理が不十分の場合、リモコンの内部に水や蒸気が入り、故障の原因になります。
※メンテナンスの為、化粧カバーにかからないようにコーキングしてください。



リモコンと機器本体の接続

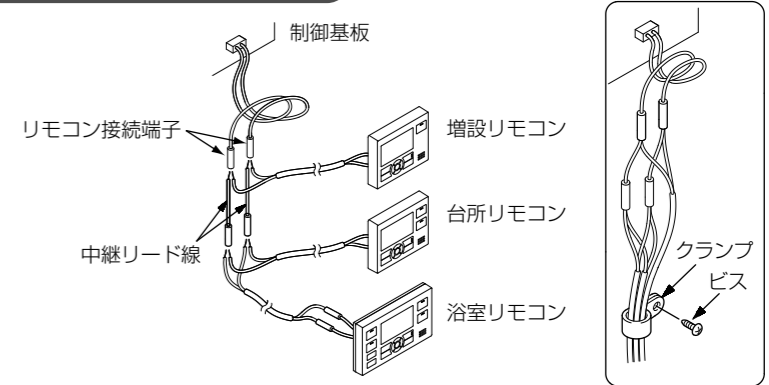
接続時のお願い

- リモコンから機器本体までの接続工事は、機器本体に付属の工事説明書に従ってください。
- 1つのリモコンに対し、1本のリモコンコードを使用してください。
- リモコンコードをリモコン接続端子以降の途中で中継して、リモコンからリモコンへ数珠つなぎ配線したり、途中で枝分かれ配線しないでください。誤作動の原因になります。
- 増設リモコンの接続台数は1台までです。それ以上の台数は接続しないでください。
※機種により増設リモコンの設定がないものがあります。



増設リモコンの接続①：機器本体と接続端子で接続する場合

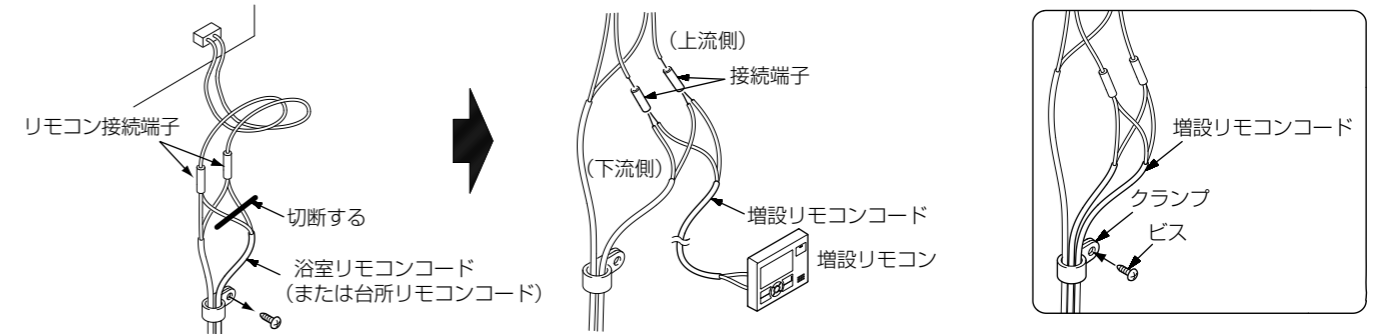
- ①増設リモコンのリモコンコードと付属の中継リード線を一緒にリモコン接続端子に挿入し、圧着する。
※リモコンコードに極性は**ありません**。
- ②台所リモコンと浴室リモコンのリモコンコードを一緒に中継リード線の接続端子に挿入し、圧着する。
- ③機器本体のクランプで各リモコンのリモコンコードを固定する。



増設リモコンの接続②：増設リモコンを後から接続する場合

- ①浴室リモコンのリモコンコードを切断する。（台所リモコンのリモコンコードでも可）
- ②付属の接続端子を、切断した上流側の浴室リモコンコードに挿入し、圧着する。
- ③取り付けた接続端子に、切断した下流側の浴室リモコンコードと増設リモコンのリモコンコードを一緒に挿入し、圧着する。
- ④機器本体のクランプで各リモコンのリモコンコードを固定する。

接続端子で接続している場合



HEMS機器との接続

※台所リモコンのみ接続できます。（機種により接続できないものがあります。）

HEMS対応アダプタとの接続

- 台所リモコン背面の端子カバーをニッパー等で切り取り、HEMS対応アダプタと台所リモコンを専用の通信線で接続する。

※詳しくは、HEMS対応アダプタの説明書をよくお読みのうえ、正しく接続してください。

